

「しごとづくり・人の流れづくり」を取り巻く豊橋市の「現況と課題」、並びに今後の豊橋市がとるべき「方針と具体的な方策」について、市の若手職員で議論し、まとめました。

－現況と課題－

- 女性や若者に市内中小企業が働く場としての魅力を認識されず、人材の流出並びに企業の人手不足が深刻化している。一方、人材不足を補うポテンシャルのあるAI等の未来技術が加速的進歩を遂げている。
- 市内には特色ある3つの大学が立地し、様々な人と知識・技術が集積している。また、農工商バランスのとれた産業構造をしており、産学官連携による産業振興基盤が整っている。
- 未来技術など、域内だけで全てを補うことは難しく、外部から企業や人材を誘致し、産業活力の底上げを図る必要がある。
- スポーツ人口は増加傾向にあり、新アリーナ建設も含め、産業や観光、コミュニティ、健康づくりなど、多側面を持つスポーツを活かしたまちづくりが求められている。
- 様々なイベントの開催や再開等により中心市街地が様変わりしてきているが、若者など中心市街地に訪れる機会の少ない市民にその魅力が十分に伝わっていない。
- 道の駅とよはしの新設やのんほいパークのリニューアルなど、郊外でも新たな魅力が創出されている。また、スマートインターといった新しい人や物の流れの起爆剤となるインフラの整備も検討されている。
- 外国人、女性、障害者、高齢者、LGBTなど多様な人材が働き、暮らしと地域コミュニティが保たれる社会の創生が求められている。

- 方針と具体的な方策 -

方針	具体的な方策
<p>・ 新産業と既存産業が織り成し活況するまちづくり ...高い技術を有する中小企業が次代に受け継がれる一方で、地域に新たな産業を創出することで、農・工・商で多様な人材が活躍し、地域経済が安定さらには成長するよう支援する。</p>	<p>1. <u>イノベーション創出支援</u> 5Gなどの未来技術の活用、産学官連携（(株)サイエンス・クリエイト、企業、市内3大学、行政等）、ヒト・モノ・コト・情報の共有による新たな価値の創造</p>
<p>・ 多様な人材がつながり新たな価値を生み出すまちづくり ...生涯を通じて活動したくなるまちを形成するとともに、スポーツを核とした新たな交流やコミュニティを生み出す。</p>	<p>2. <u>生産性向上に資する人材確保と基盤強化</u> 年齢、性別、国籍等を問わず、あらゆる人材が農業や中小企業の担い手になることができる環境づくりとICT等を活用した生産性の向上、陸海の交流拠点を活かした物流の安定確保（災害時におけるバリューチェーン維持）</p>
<p>・ 仕事や暮らしなどの魅力があふれ伝わるまちづくり ...全国屈指の農業、特徴のあるものづくり産業、充実した教育や子育て支援、豊かさを彩る自然環境など、仕事と暮らしをまち全体の魅力として、一体的に発信する。</p>	<p>3. <u>産業と人材の育成・誘致</u> 産業拠点などインフラの整備並びにその機能を最大限に活用した企業誘致と雇用の創出、専門性や先端技術を有する次代の産業人材の育成や外部人材の誘致</p>
<p>・ 仕事や暮らしなどの魅力があふれ伝わるまちづくり ...全国屈指の農業、特徴のあるものづくり産業、充実した教育や子育て支援、豊かさを彩る自然環境など、仕事と暮らしをまち全体の魅力として、一体的に発信する。</p>	<p>4. <u>選ばれるまちの形成</u> 幅広い世代の多様な価値観を呑み込み実現することのできる仕事とまちの形成、若者による新しいチャレンジへの支援、女性や若者などに響く魅力の発信</p>
	<p>5. <u>多様なコンテンツを活用した仕事と人の流れの創出</u> 観光施設（二川宿等）やロケ地、食などの観光コンテンツに加え、スポーツ（マラソン等）や健康づくりなど動員力の高い成長産業を活かしたプロモーションの展開</p>